ヨド蔵MD 組立説明書(2929H・3629H)

このたびは「ヨド蔵」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。

設置場所の制限

⚠ 注意

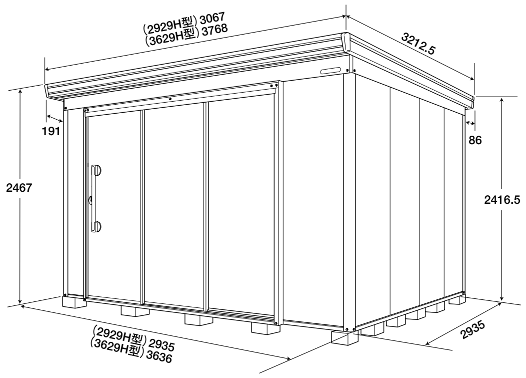
- ●建物の屋上には設置しないでください。
- ●バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- ●大屋根からの雨水や雪が、直接ヨド蔵の屋根に落ちる場所には、設置しないでください。
- ●崖のふち・風当たりの強い場所等安全の確認のできない場所には、設置しないでください。
- ●給湯器の前には設置しないでください。

組立施工の際には

⚠注意 ●アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。

お願い

- ●組立の際には手袋を着用してください。
- ●風の強い日・雨の日は、組立作業をさけてください。
- ●高い足場が必要なときは、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- ●組立後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。


(2929H型) 3067
(3629H型) 3768
3212.5
191
86
2467
2416.5
(2929H型) 2935
(3629H型) 3636
2935

※鍵は、扉枠の梱包に同梱されております。
※この組立説明書は「3629H」の組立手順を基本に説明しております。

〈施工にあたって〉

1.まず、御注文通りの商品かどうかを確認してください。
2.基礎ブロックは市販のコンクリートブロックを御使用ください。
ブロックの大きさは巾19cm×長さ19cm×厚さ10cmまたは巾19cm×長さ39cm×厚さ10cmのものが適当です。
3.部材の共通化のために、実際には使用しない孔のあいている部材がありますので、説明書に従って組立してください。
4.部材は、鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。（安全のため必ず手袋を着用してください。）
5.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
6.部材の組立では、ボルトの孔を合わせて組立てください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

梱包組合せ表

機種＼梱包	部品	前後材	左右材	柱		桁			床					床補強	屋根	
				一般	積雪	一般	積雪		合板			スチール			ペフ無し	
2929H型	DZ2-0123	DZ1-0206	DZ1-0306	DZ1-0402	DZ1-0401	DZ1-0544	DZ1-0545X2		DZ1-0725	DZ1-0727	DZ1-0728X2	DZ1-0767	DZ1-0768X2	DZ1-0816	DZ1-0921	DZ1-0922
3629H型	DZ2-0124	DZ1-0207	DZ1-0306	DZ1-0402	DZ1-0401	DZ1-0546	DZ1-0547X2	DZ1-0548	DZ1-0725	DZ1-0727	DZ1-0728X3	DZ1-0767X2	DZ1-0768X2	DZ1-0817	DZ1-0925	DZ1-0930

機種＼梱包	屋根		壁パネル						半袖壁パネル	鼻隠し		天井	扉	扉側壁	扉枠
	ペフ有り		一般			積雪				一般	積雪				
2929H型	DZ1-0971	DZ1-0972	DZ1-1001SG	DZ1-1002SGX5	DZ1-1003SG	DZ1-1001SG	DZ1-1002SGX5	DZ1-1004SG	DZ1-1006SG	DZ1-1106	DZ1-1116	DZ1-1226	DZ2-1701SG	DZ1-1702SG	DZ2-1703
3629H型	DZ1-0975	DZ1-0980	DZ1-1001SG	DZ1-1002SGX6	DZ1-1003SG	DZ1-1001SG	DZ1-1002SGX6	DZ1-1004SG	DZ1-1006SG	DZ1-1107	DZ1-1117	DZ1-1227	DZ2-1701SG	DZ1-1702SG	DZ2-1703

梱包内容表

●部品

DZ2-0123〈2929H(S)〉

部材名	数量
接続金具	4
アンカープレートL	4
打込みアンカー(L=324)	4
屋根止結金具	28
壁止結金具A	22
壁止結金具C	6
ケラバ接続金具	6
レジスター(ビス付)	1
上枠補強金具(大)	4
上枠補強金具(小)	2
ソフトテープ(L=2900)	2
取扱説明書	1
保証書	1
銘板	1
機種名ラベル2929用	1
ボルトセット2929用	1
組立説明書	1

DZ2-0124〈3629H(S)〉

部材名	数量
接続金具	4
アンカープレートL	4
打込みアンカー(L=324)	4
屋根止結金具	36
壁止結金具A	26
壁止結金具C	6
ケラバ接続金具	6
レジスター(ビス付)	1
上枠補強金具(大)	4
上枠補強金具(小)	2
ソフトテープ(L=1500)	2
ソフトテープ(L=2200)	2
取扱説明書	1
保証書	1
銘板	1
機種名ラベル3629用	1
ボルトセット3629用	1
組立説明書	1

●前後材

DZ1-0206〈2929H(S)〉

部材名	数量
下枠前後A4.0	2
上枠前A4.0	1
上枠後A4.0	1
廻し縁A4.0	2
床押えA4.0	2
W16セムスボルトM6×16Gシルバー	25

DZ1-0207〈3629H(S)〉

部材名	数量
下枠前後A5.0	2
上枠前A5.0	1
上枠後A5.0	1
廻し縁A5.0	2
床押えA5.0	2
W16セムスボルトM6×16Gシルバー	25

●左右材

DZ1-0306〈2929H(S)・3629H(S)〉

部材名	数量
下枠右A4.0	1
下枠左A4.0	1
上枠右A4.0	1
上枠左A4.0	1
廻し縁A4.0	2
床押えA4.0	2
ケラバA4.0右	1
ケラバA4.0左	1
鼻隠しコーナー前右	1
鼻隠しコーナー前左	1
鼻隠しコーナー後右	1
鼻隠しコーナー後左	1
W16セムスボルトM6×16Gシルバー	9
+ナベ Pタイト 4×10シルバー	7

●柱

DZ1-0401〈2929H-S・3629H-S〉

部材名	数量
柱前H	2
柱後H	2
隅押えH	4
上枠コーナー(前)	2
上枠コーナー(後)	2

DZ1-0402〈2929H・3629H〉

部材名	数量
柱前H	2
柱後H	2
隅押えH	4
上枠コーナー(前)	2
上枠コーナー(後)	2
タテドイ	1

●桁

DZ1-0544〈2929H〉

部材名	数量
桁J-A4.0	1
桁K-A4.0	1
桁L-A4.0	1
フランジ六角ボルトM6×19	13

DZ1-0545〈2929H-S〉

部材名	数量
桁J-A4.0	1
桁K-A4.0	1
桁L-A4.0(S)	1
フランジ六角ボルトM6×19	13
フランジナットM6	6

DZ1-0546〈3629H〉

部材名	数量
桁J-A5.0	1
桁K-A5.0	1
桁L-A5.0	1
フランジ六角ボルトM6×19	13

DZ1-0547〈3629H-S〉

部材名	数量
桁J-A5.0	1
桁L-A5.0(S)	1

DZ1-0548〈3629H- S〉

部材名	数量
桁K-A5.0(S)	2
フランジ六角ボルトM6×19	25
フランジナットM6	13

●床

DZ1-0725〈2929H(S)・3629H(S)〉

部材名	数量
床右A4.0	1
床左A4.0	1

DZ1-0727〈2929H(S)・3629H(S)〉

部材名	数量
床中小A4.0	2

DZ1-0728〈2929H(S)・3629H(S)〉

部材名	数量
床中大A4.0	1

●スチール床

DZ1-0767〈2929H(S)・3629H(S)〉

部材名	数量
床板S-A4.0	2

DZ1-0768〈2929H(S)・3629H(S)〉

部材名	数量
床板S-A4.0	3

●床補強

DZ1-0816〈2925H(S)〉

部材名	数量
床補強A4.0	4
天井目地A4.0	5
床補強取付金具	8
床固定金具(97)	20
+バインドタッピング 5ϕ×16L	21
W16セムスボルトM6×16G	17

DZ1-0817〈3629H(S)〉

部材名	数量
床補強A5.0	4
天井目地A4.0	6
床補強取付金具	8
床固定金具(97)	24
+バインドタッピング5ϕ×16L	25
W16セムスボルトM6×16G	17

●屋根(ペフ無し)

DZ1-0921〈2929H(S)〉

部材名	数量
屋根板小A4.0	3
屋根板大A4.0	1

DZ1-0922〈2929H(S)〉

部材名	数量
屋根板小A4.0	4

DZ1-0925〈3629H(S)〉

部材名	数量
屋根板小A4.0	5

DZ1-0930〈3629H(S)〉

部材名	数量
屋根板小A4.0	4
屋根板大A4.0	1

●屋根(ペフ有り)

DZ1-0971〈2929H(S)〉

部材名	数量
屋根板小A4.0	3
屋根板大A4.0	1

DZ1-0972〈2929H(S)〉

部材名	数量
屋根板小A4.0	4

DZ1-0975〈3629H(S)〉

部材名	数量
屋根板小A4.0	5

DZ1-0980〈3629H(S)〉

部材名	数量
屋根板小A4.0	4
屋根板大A4.0	1

●壁パネル

DZ1-1001SG〈2929H(S)・3629H(S)〉

部材名	数量
壁パネル	1

DZ1-1002SG〈2929H(S)・3629H(S)〉

部材名	数量
壁パネル	2

DZ1-1003SG〈2929H・3629H〉

部材名	数量
壁パネルPL	1

DZ1-1004SG〈2929H-S・3629H-S〉

部材名	数量
壁パネルPL-S	1

●半袖壁パネル

DZ1-1006SG〈2929H(S)・3629H(S)〉

部材名	数量
半袖壁パネル	1

●鼻隠し

DZ1-1106〈2929H〉

部材名	数量
鼻隠し前A4.0	1
鼻隠し後A4.0	1
屋根止結金具	3
W16セムスボルトM6×16Gシルバー	18
ケラバ接続金具	1
タテドイ	1
トイセット②	1

DZ1-1107〈3629H〉

部材名	数量
鼻隠し前A5.0	1
鼻隠し後A5.0	1
屋根止結金具	4
W16セムスボルトM6×16Gシルバー	19
ケラバ接続金具	1
タテドイ	1
トイセット②	1

DZ1-1116〈2929H-S〉

部材名	数量
鼻隠し前A4.0	1
鼻隠し後S-A4.0	1
屋根止結金具	3
W16セムスボルトM6×16Gシルバー	18
ケラバ接続金具	1

DZ1-1117〈3629H-S〉

部材名	数量
鼻隠し前A5.0	1
鼻隠し後S-A5.0	1
屋根止結金具	4
W16セムスボルトM6×16Gシルバー	19
ケラバ接続金具	1

●天井

DZ1-1226〈2929H(S)〉

部材名	数量
天井4.0(A)	2
天井4.0(B)	1
天井4.0(C)	1
天井4.0(D)	2

DZ1-1227〈3629H(S)〉

部材名	数量
天井4.0(A)	3
天井4.0(B)	1
天井4.0(C)	1
天井4.0(D)	2

●扉

DZ2-1701SG〈2929H(S)・3629H(S)〉

部材名	数量
扉A(大)	1
扉B(大)	1

●扉側壁

DZ1-1702SG〈2929H(S)・3629H(S)〉

部材名	数量
扉側パネル(大)	1

●扉枠

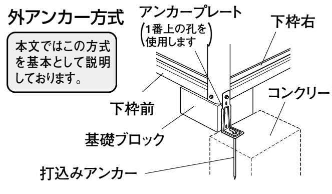
DZ2-1703〈2929H(S)・3629H(S)〉

部材名	数量
扉上レールA3.5	1
扉上枠A3.5	1
扉下レールA3.5	1
扉下枠A3.5(右),(左)	各1
扉縦枠(右)	1
扉縦枠(左)	1
扉縦枠カバー	1
扉間柱	1
扉間柱取付金具	2
扉光止め金具	1
扉隙間隠し	1
扉取手	一式
戸車プレートB(右)、(左)	各1
連動車	一式
下孔フサギ	1
孔フサギ	3
カギ孔隠し	1
上昇防止プレート	3
+W13セムスボルトM6×16Gシルバー	21
+トラス小ネジM6×16シルバー	7
+Aトラスタッピング5ϕ×45シルバー	10
+トラスタッピング4ϕ×13白	3
+トラスタッピング4ϕ×13黒	7
+特フランジボルトM6×16シルバー	5
+W13セムスボルトM6×16G白	5
錠セット	一式

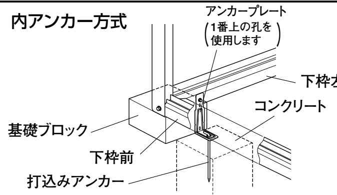
アンカー工事は設置場所によって図のような方法があります。
強風による転倒防止のため、必ず行ってください。

土の上に設置する場合

外アンカー方式

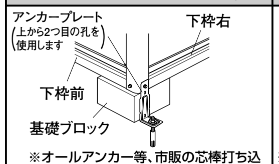

本文ではこの方式を基本として説明しております。
アンカープレート
(1番上の孔を使用します)
下枠右
下枠前
コンクリート
基礎ブロック
打込みアンカー

内アンカー方式


アンカープレート
(1番上の孔を使用します
下枠左
コンクリート
基礎ブロック
下枠前
打込みアンカー

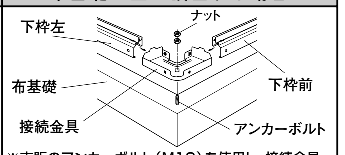
打ち込みアンカーを**アンカープレート**の孔に通し、周囲にタテ、ヨコ各々30cm（Hタイプは40cm）、深さ40cmの穴を掘り、コンクリートを打ち込んで固定します。（4ヶ所）打ち込みアンカーの頭は、物置本体に向けてください。
※コンクリートは市販品を用意してください。
※高さ15cm以上のブロックを使用する場合は、アンカープレートまで根巻きを行ってください。

コンクリート床の上に設置する場合


アンカープレート
(上から2つ目の孔を使用します
下枠右
下枠前
基礎ブロック

※オールアンカー等、市販の芯棒打ち込み式アンカー（M12）で固定してください。

布基礎の上に設置する場合

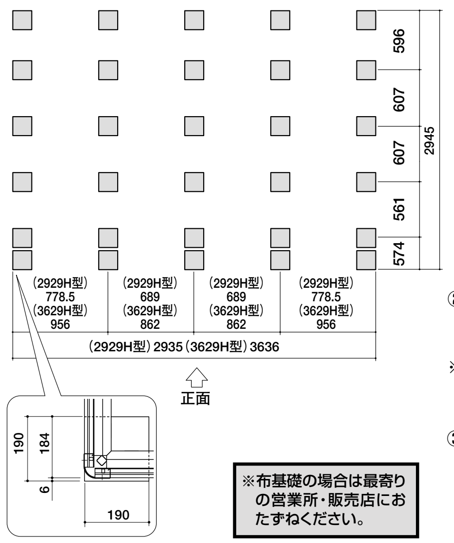

ナット
下枠左
布基礎
下枠前
接続金具
アンカーボルト

※市販のアンカーボルト（M12）を使用し、接続金具に取付け、ダブルナットで固定してください。

※強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情にあわせて設計・施工してください。

1 基礎のブロック配置

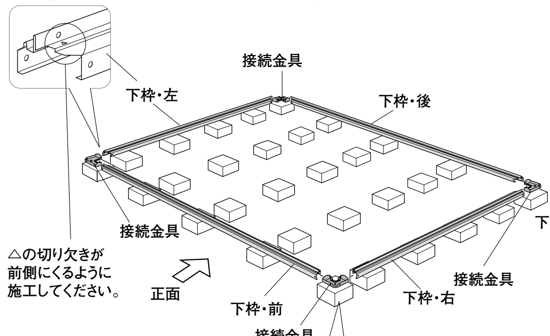
①基礎ブロックを図の寸法に並べます。(数字はmm)
◎物置本体と基礎ブロックの関係は、図の通りです。
◎屋根は物置本体より、前に191mm、後に86mm、左右各66mm出ます。


596
607
607
561
574
2945
(2929H型) 778.5 (3629H型) 956
(2929H型) 689 (3629H型) 862
(2929H型) 689 (3629H型) 862
(2929H型) 778.5 (3629H型) 956
(2929H型) 2935 (3629H型) 3636
正面
190
184
6
190

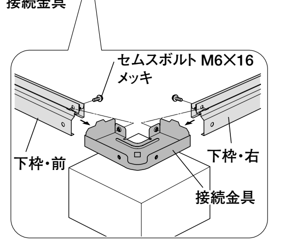
※布基礎の場合は最寄りの営業所・販売店におたずねください。

2 下枠の組立て

①基礎ブロックの上に図のように部材を並べます。

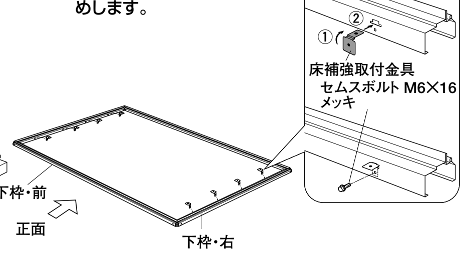

接続金具
下枠・左
下枠・後
接続金具
△の切り欠きが前側にくるように施工してください。
正面
下枠・前
接続金具
下枠・右
接続金具

②**接続金具**に**下枠・前**および**下枠・右**を差込み、ボルトで固定します。左側も同様にして組立てます。
※内アンカーで施工する場合は、同時に**アンカープレート**を**下枠・右、左**に取付けます。
③**水準器**を使って基礎の水平を出してください。
※基礎の水平が出ていないと扉がスムーズに開閉しなかったり鍵がかかりにくくなったりします。

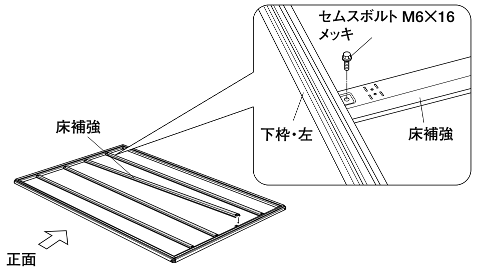

セムスボルト M6×16 メッキ
下枠・前
下枠・右
接続金具

3 床補強の取付け

①左右の下枠の孔に床補強取付金具を差し込みボルト止めします。


②
①
床補強取付金具
セムスボルト M6×16 メッキ
下枠・前
正面
下枠・右

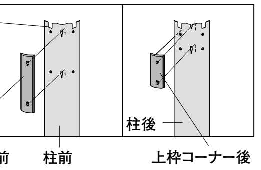
②床補強を床補強取付金具にかぶせボルト止めします。


セムスボルト M6×16 メッキ
床補強
下枠・左
床補強
正面

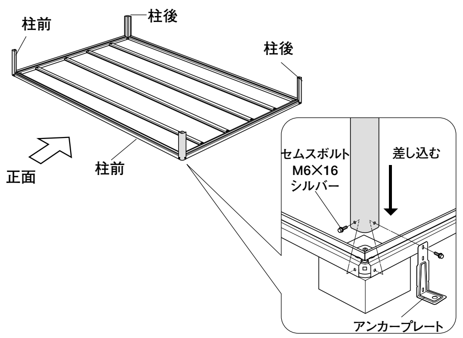
4 柱の取付け

①柱前・柱後の上端にそれぞれ上枠コーナーを取付けます。

柱前の取付は上部にすき間ができます。柱後にはすき間はありません。


柱後
上枠コーナー前
柱前
上枠コーナー後

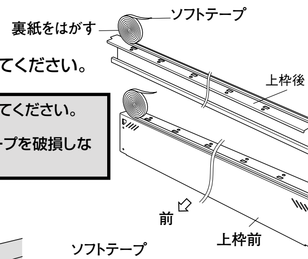
②柱前・柱後の下端を下枠の切り欠きに差し込みボルト止めします。同時にアンカープレートを本体側面に取付けます。


柱前
柱後
柱後
柱前
正面
セムスボルト M6×16 シルバー
差し込む
アンカープレート

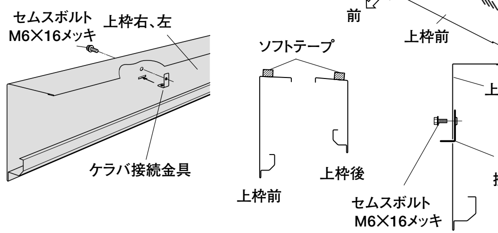
5 上枠の取付け

①ソフトテープを上枠前および上枠後に図の様に貼ってください。

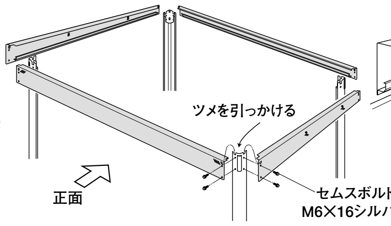
- ・ソフトテープは、上枠前、上枠後を柱に取付ける前に貼ってください。
- ・ソフトテープは屋根を組立てる前に貼ってください。
- ・屋根を組立てる際に、上枠前、後に貼っているソフトテープを破損しないように、十分注意してください。

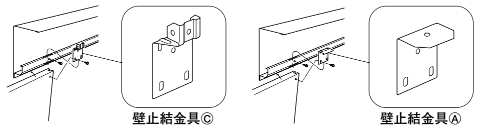

裏紙をはがす
ソフトテープ
上枠後
前
上枠前

②上枠を柱に取付ける前に上枠右、左にケラバ接続金具を取付けます。また、上枠前の中央部にも同様にケラバ接続金具を取付けます。


セムスボルト M6×16メッキ
上枠右、左
ケラバ接続金具
ソフトテープ
上枠前
上枠後
上枠右、左
ケラバ接続金具
セムスボルト M6×16メッキ

③上枠前、上枠後の両端のツメを柱上端に引っかけボルト止めします。上枠と上枠コーナーはすき間なく合わせて固定してください。
④上枠右、上枠左も同様にして取付けます。


ツメを引っかける
正面
セムスボルト M6×16シルバー

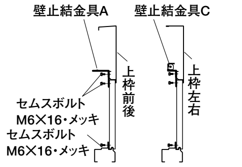

壁止結金具Ⓒ
壁止結金具Ⓐ

注）オプションの小窓等を取付ける場合、取付位置の制限があります。

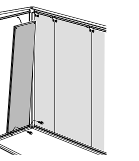
オプションの小窓、掃出し窓、ドアを取り付ける場合、組立説明書はそれぞれの取付枠梱包に入っています。

6 壁パネルの取付け

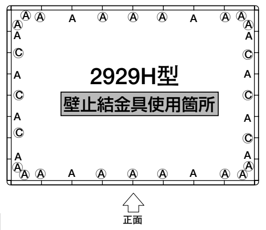
①扉及び窓・コンセントパネル等（オプション）の位置を決め、その他の箇所に壁パネルを取付けます。壁パネルを室内側より持ち下端を下枠のレール部にのせ、本体にはめ込み上端を壁止結金具でボルト止めします。この時、室内側よりみて、左側に凸がくるようにし、左側から順に取付けます。左端及び壁と壁の間に扉・窓など開口部がくる場合は、先に7扉枠の組立て及び小窓・掃出し・ドアの組立てを行い、壁パネル同様に取付けます。

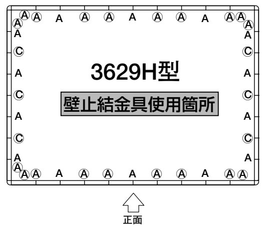

壁止結金具A
壁止結金具C
上枠前後
上枠左右
セムスボルト M6×16・メッキ
セムスボルト M6×16・メッキ

②壁の先頭・最後及び壁と壁、壁と開口部などのつなぎ目には必ず壁止結金具で固定してください。
③○印の所に、壁のつなぎ目がない場合でも必ず、壁止結金具は取付けてください。壁止結金具には下図の通り、使用箇所が決まっていますので間違わないように注意してください。
※○印のない所に壁のつなぎ目がない場合は、壁止結金具を取付ける必要はありません。



注）壁パネルは内側からみて左側に凸がくるようにし、左端から順に取付けます。

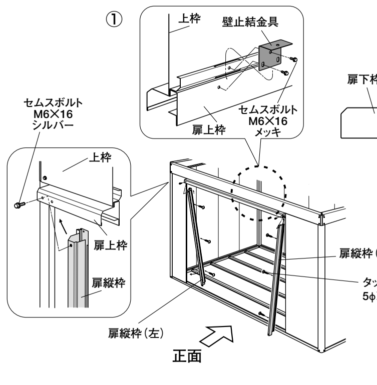

2929H型
壁止結金具使用箇所
正面


3629H型
壁止結金具使用箇所
正面

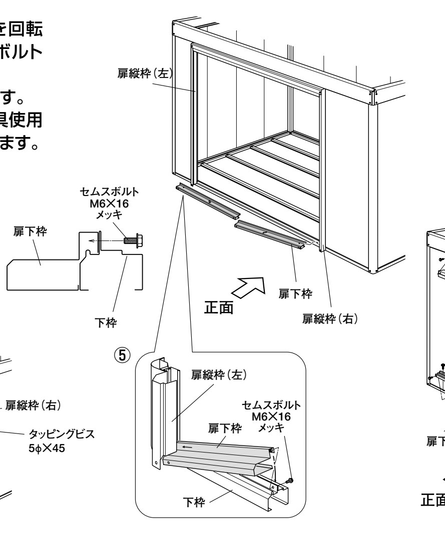
開口部の配置によっては壁止結金具Ⓐが不必要な場合もありますが、開口方向は壁止結金具Ⓐをすべて取付けておくことをおすすめします。

7 扉枠の組立て

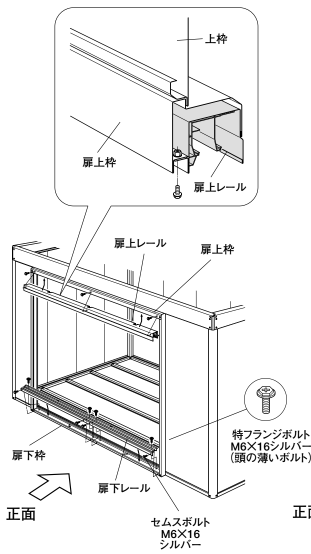
※扉は右開き、左開きのどちらでも可能です。本文は右開きの方式で説明しております。左開きの場合は⑧以降、逆向きに施工してください。
①扉上枠を上枠の下部に当てがい、中間部の一ヶ所のみ壁止結金具でボルト止めします。（仮止め）
※残りの箇所は④の工程で取付けます。
②扉縦枠を斜めに扉上枠に差し込み、下側を回転させ、柱・壁にそわせ、扉縦枠と扉上枠をボルト止めします。
③扉縦枠を柱・壁にタッピングビスで固定します。
④扉上枠に6壁パネルの取付けの壁止結金具使用箇所の通り、壁止結金具を入れボルト止めします。


①
上枠
壁止結金具
扉上枠
セムスボルト M6×16 メッキ
②
セムスボルト M6×16 シルバー
上枠
扉上枠
扉縦枠
扉縦枠（右）
タッピングビス 5ϕ×45
扉縦枠（左）
正面

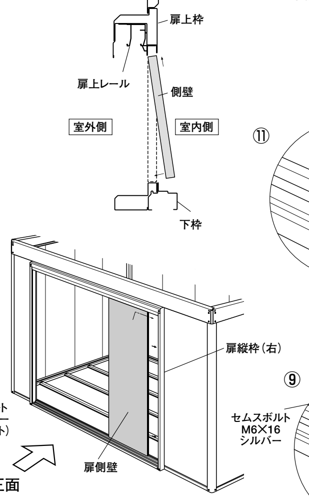
⑤扉下枠を扉縦枠に差し込み、下枠のレール部にかぶせボルト止めします。


セムスボルト M6×16 メッキ
扉下枠
下枠
扉縦枠（左）
正面
扉下枠
扉縦枠（右）
⑤
扉縦枠（左）
セムスボルト M6×16 メッキ
扉下枠
下枠

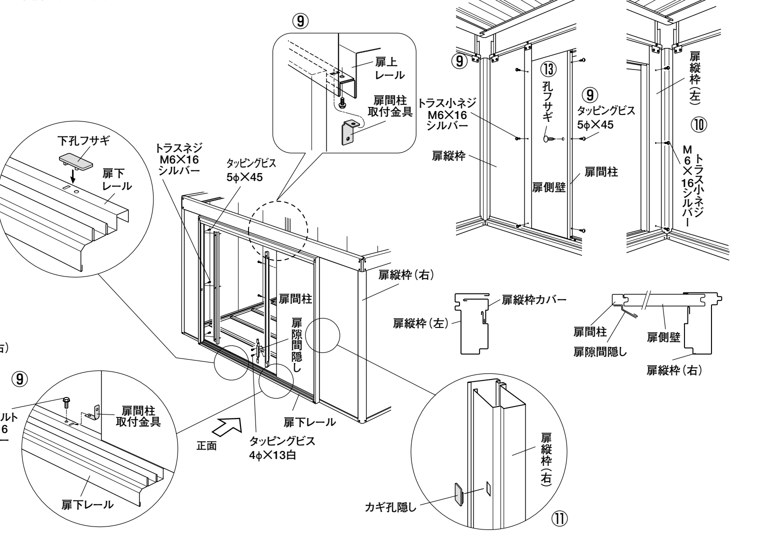
⑥扉上レールを扉上枠に差し込み、ボルト止めします。
⑦扉下レールを扉下枠にかぶせ、ボルト止めします。


上枠
扉上枠
扉上レール
扉上レール
扉上枠
特フランジボルト M6×16シルバー (頭の薄いボルト)
扉下枠
扉下レール
正面
セムスボルト M6×16 シルバー

⑧扉側壁を室内側より扉上枠に差し込み扉下レールの上にのせ、扉縦枠（右）の隙間にスライドさせます。

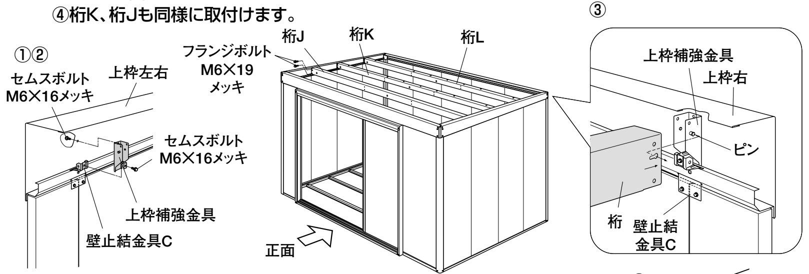

扉上枠
扉上レール
側壁
室外側
室内側
下枠
扉縦枠（右）
扉側壁
正面

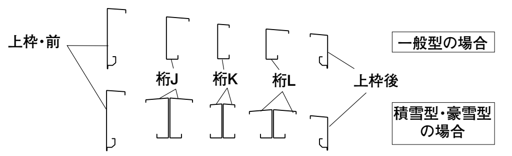
⑨扉上レールと扉下レールに扉間柱取付金具を取付け、扉間柱を間柱取付金具にボルト止めします。扉間柱と扉側壁をタッピングビスで固定します。また、室内側より、扉縦枠と扉側壁をボルト止めします。
⑩扉縦枠カバーを扉縦枠（左）に差し込み、室内側よりボルト止めします。
⑪扉縦枠にカギ孔隠しを取付けます。扉下レールに下孔フサギを取付けます。
⑫扉隙間隠しを扉間柱にタッピングビスで取付けます。
⑬扉側壁に孔フサギを取付けます。

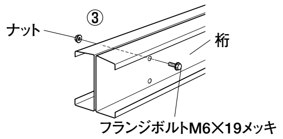

⑨
扉上レール
扉間柱取付金具
⑪
下孔フサギ
扉下レール
トラスネジ M6×16 シルバー
タッピングビス 5ϕ×45
扉縦枠（右）
扉間柱
扉隙間隠し
扉下レール
正面
タッピングビス 4ϕ×13白
⑨
セムスボルト M6×16 シルバー
扉間柱取付金具
扉下レール
カギ孔隠し
扉縦枠（右）
⑪
⑨
⑬
孔フサギ
⑨
タッピングビス 5ϕ×45
トラス小ネジ M6×16 シルバー
扉縦枠
扉側壁
扉間柱
扉縦枠（左）
⑩
M6×16トラス小ネジシルバー
扉縦枠カバー
扉縦枠（左）
扉間柱
扉隙間隠し
扉側壁
扉縦枠（右）

8 桁の取付け

①上枠補強金具を上枠左右に差し込み、上枠左右の室外側よりボルト止めします。
※上枠補強金具には、2種類あります。大きい方を前側に、小さい方を後ろ側に取付けてください。
②上枠補強金具と壁止結金具Cをボルト止めします。
③桁Lを上枠補強金具のピンに差し込み、上枠右側にスライドさせ、桁Lの左側も、上枠補強金具のピンに差し込んでから、上枠補強金具と壁止結金具Cにボルト止めします。
積雪型の場合は、桁を背合せにして、2本同時にボルト止めします。また、背合せにした桁をボルト・ナットで固定します。
④桁K、桁Jも同様に取付けます。


①②
セムスボルト M6×16メッキ
上枠左右
セムスボルト M6×16メッキ
上枠補強金具
壁止結金具C
フランジボルト M6×19 メッキ
桁J
桁K
桁L
正面
③
上枠補強金具
上枠右
ピン
桁
壁止結金具C

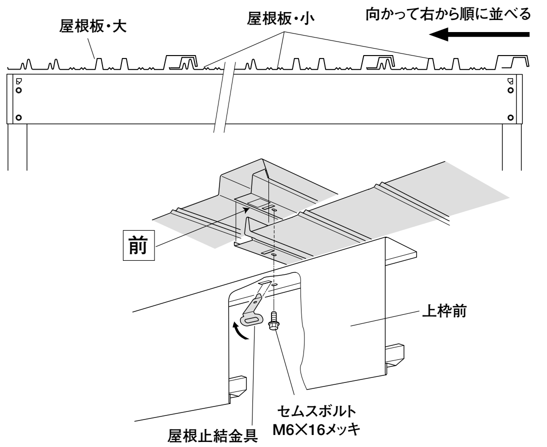

上枠・前
桁J
桁K
桁L
上枠後
一般型の場合
積雪型・豪雪型の場合


③
ナット
桁
フランジボルトM6×19メッキ

積雪・豪雪型は、桁を背合せに取付け、ボルト・ナットで桁に固定してください。

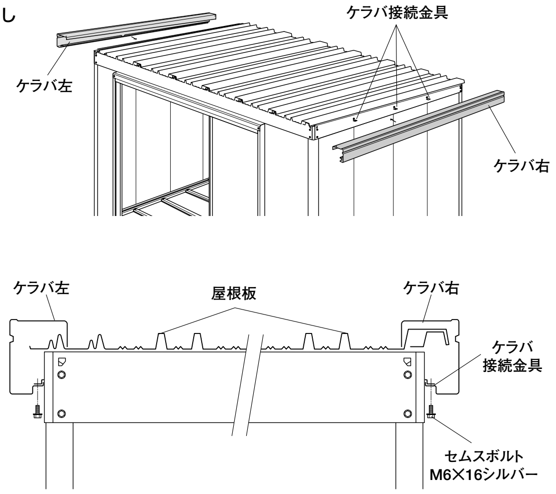
9 屋根の取付け

①屋根板は、物置に向かって右端から屋根板・小を順に取付けていき左端に屋根板・大を取付けます。この時前のマークの入っている方を前にします。（屋根板は前側から差し込みます。この時ソフトテープを破損しないように注意してください。）
②隣り同士の屋根板の角孔と上枠・後の角孔を合わせ屋根止結金具を通し、ボルトで仮止めします。上枠・前、桁J、桁Lも同様に仮止めします。屋根を全て仮止めした後、締め込みます。


屋根板・大
屋根板・小
向かって右から順に並べる
前
上枠前
屋根止結金具
セムスボルト M6×16メッキ

10 ケラバの取付け

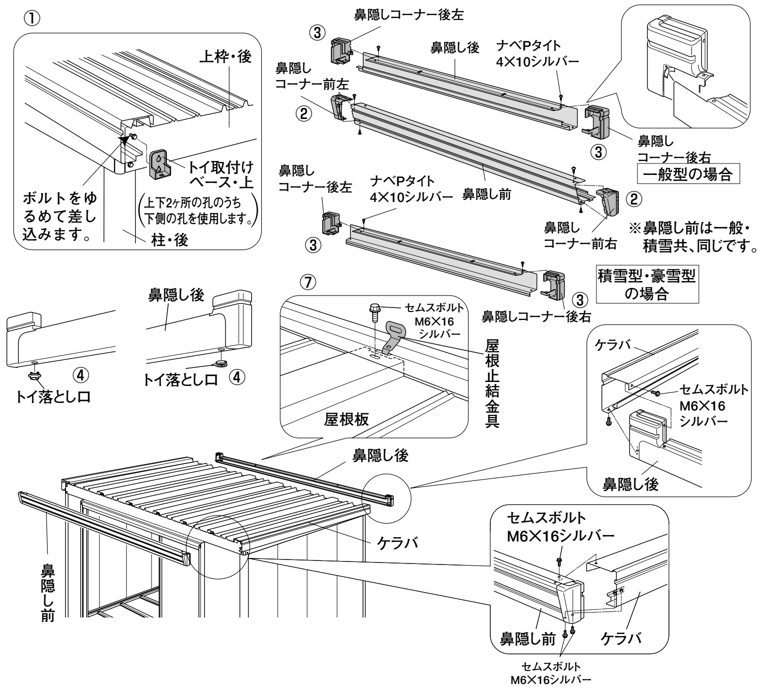
①ケラバ右の上部を屋根板の端部にかぶせ、ケラバ接続金具にボルト止めします。
②ケラバ左も同様に取付けます。


ケラバ接続金具
ケラバ左
ケラバ右
ケラバ左
屋根板
ケラバ右
ケラバ接続金具
セムスボルト M6×16シルバー

11 鼻隠しの取付け

①一般地用の場合は、トイ取付ベース・上を、上枠後に取付けます。使用ボルトは、上枠後と柱後を止めているボルトをゆるめてトイ取付ベース・上を差し込み固定してください。※積雪型及びオプショントイの場合は、この工程はありません。
②鼻隠し前の両端に、鼻隠しコーナー前右、左を取付けます。
③鼻隠し後の両端に、鼻隠しコーナー後右、左を取付けます。鼻隠し後の端部を鼻隠しコーナー後に差し込んでください。
④一般地用の場合は、鼻隠し後にトイ落とし口を取付けます。
※積雪地用及びオプショントイの場合は、この工程はありません。
⑤鼻隠し前及び鼻隠し後をケラバに差し込みボルト止めします。
⑥鼻隠し前の中央部をケラバ接続金具にボルト止めします。
⑦屋根止結金具で鼻隠し後を屋根板に固定します。

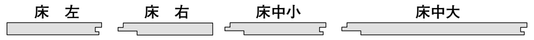
オプショントイの場合は、本組立説明書とオプショントイの組立説明書をお読みの上、施工してください。


①
上枠・後
ボルトをゆるめて差し込みます。
トイ取付け ベース・上
（上下2ヶ所の孔のうち下側の孔を使用します。）
柱・後
③
鼻隠しコーナー後左
鼻隠し後
ナベPタイト 4×10シルバー
鼻隠し コーナー前左
②
③
鼻隠し コーナー後右
一般型の場合
鼻隠し コーナー後左
ナベPタイト 4×10シルバー
鼻隠し前
②
鼻隠し コーナー前右
※鼻隠し前は一般・積雪共、同じです。
③
積雪型・豪雪型の場合
③
鼻隠しコーナー後右
鼻隠し後
④
トイ落とし口
トイ落とし口 ④
⑦
セムスボルト M6×16 シルバー
屋根止結金具
屋根板
鼻隠し後
ケラバ
鼻隠し前
ケラバ
セムスボルト M6×16 シルバー
鼻隠し後
セムスボルト M6×16シルバー
鼻隠し前
ケラバ
セムスボルト M6×16シルバー

12 床板の取付け

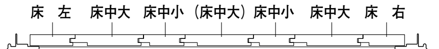
合板床の場合

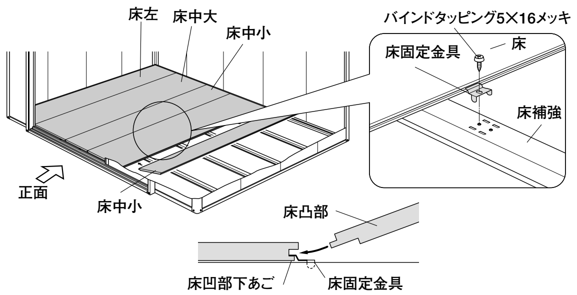
①床左を一方の端（どちらでもかまいません）に配置します。
②床固定金具で床左の凹部の下あごにひっかけ、床補強に固定します。
③床中大の凸部を床左の凹部に差し込みます。
④同様に全ての床を順番に取付けます。


床　左
床　右
床中小
床中大

床には、4種類あります。この様に配置・施工してください。

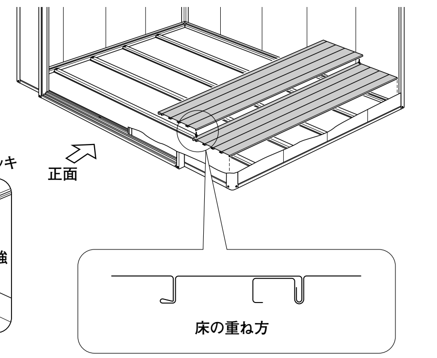
（　）は3629Hのみ


床　左
床中大
床中小
（床中大）
床中小
床中大
床　右


床左
床中大
床中小
バインドタッピング5×16メッキ
床固定金具
床
床補強
正面
床中小
床凸部
床凹部下あご
床固定金具

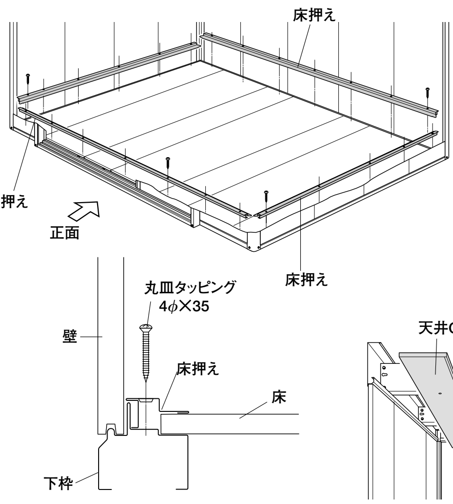
スチール床の場合

①床板の一方の端（どちらでもかまいません）から順に並べます。重ね部分を下図のように、ミゾにはめ込み並べます。



13 床押えの取付け

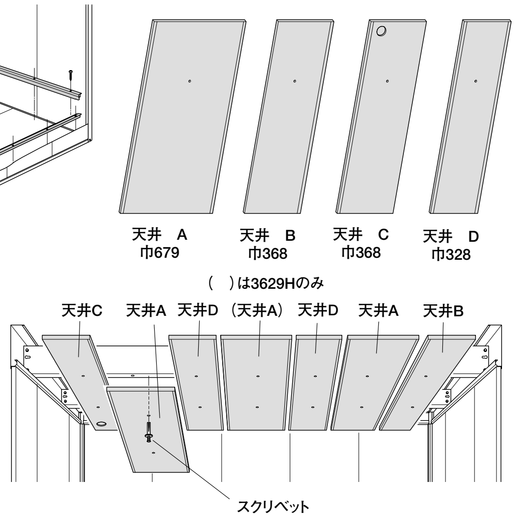
①床押えを下枠及び床の端部にのせ、固定します。
※床押えは、どこからでも取付けできます。

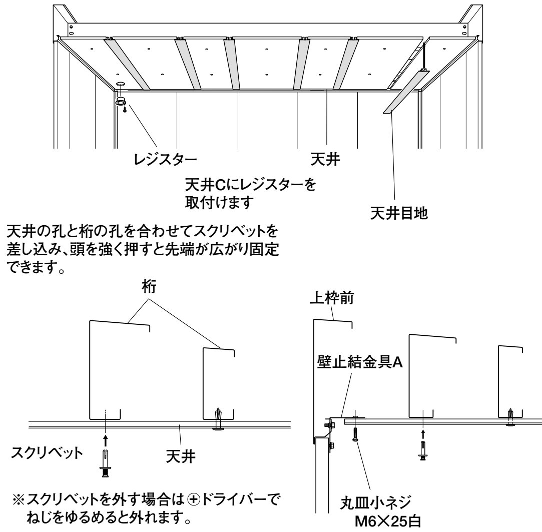

床押え
床押え
正面
床押え
丸皿タッピング 4φ×35
壁
床押え
床
下枠

14 天井の取付け

※電装関係（オプション）は、天井の取付けをする前に配線してください。

①天井を図のように配置し、スクリベットで固定します。
②天井目地を天井の間にはめ込み、桁の孔と合わせ、天井同様スクリベットで固定します。
③天井目地の両端は、壁止結金具Aとボルトで固定します。
④天井Cにレジスターを取付けます。


天井　A 巾679
天井　B 巾368
天井　C 巾368
天井　D 巾328
（　）は3629Hのみ
天井C
天井A
天井D
（天井A）
天井D
天井A
天井B
スクリベット

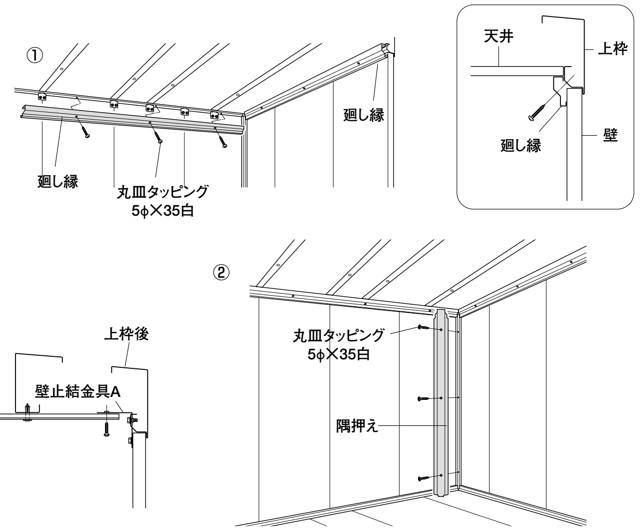

レジスター
天井
天井Cにレジスターを取付けます
天井目地
桁
スクリベット
天井
上枠前
壁止結金具A
壁止結金具A
上枠後
丸皿小ネジ M6×25白

天井の孔と桁の孔を合わせてスクリベットを差し込み、頭を強く押すと先端が広がり固定できます。

※スクリベットを外す場合は⊕ドライバーでねじをゆるめると外れます。

15 廻し縁・隅押えの取付け

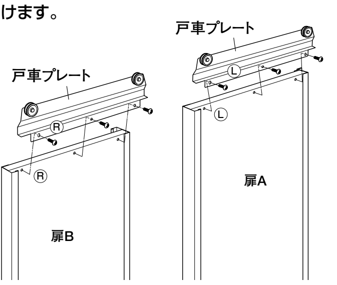
①廻し縁を室内の上隅に当てがい、上枠を固定します。
四方どこからでも取付けできます。
②隅押えを室内の柱に当てがい、柱に固定します。
四方どこからでも取付けできます。


①
廻し縁
廻し縁
丸皿タッピング 5φ×35白
天井
上枠
廻し縁
壁
②
丸皿タッピング 5φ×35白
隅押え

16 扉の吊込み （工場出荷時は、左側開口となっております。）

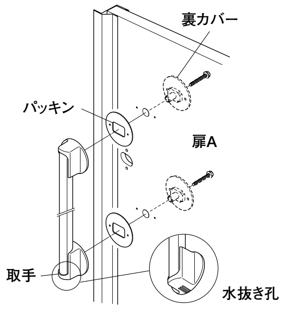
①戸車プレートを扉A・扉Bに取付けます。

（扉の開き方が右側開口の場合）
扉下框を取り外し、扉の反対側に付け直し、もう一方に戸車プレートを取付けます。
※以降、逆向きに施工してください。
※戸車プレートには、ⓇⓁ区別があります。
右図の通り戸車プレートと扉の記号（ⓇⓁ）を合わせて、正しく取付けてください。

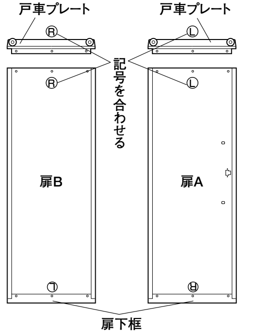

戸車プレート
戸車プレート
Ⓡ
Ⓛ
扉B
扉A

②取手にパッキンを取付け、扉Aに当てて、裏側から裏カバーと共にビス止めします。

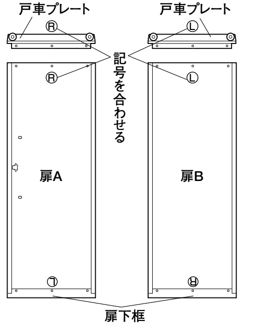
※必ず水抜き孔が下にくるように取付けを行ってください。


裏カバー
パッキン
扉A
取手
水抜き孔

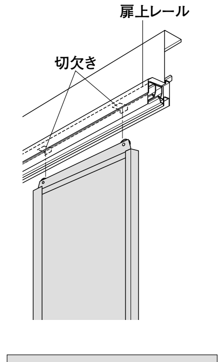
●左側開口の場合（工場出荷時）


戸車プレート
戸車プレート
Ⓡ
Ⓛ
記号を合わせる
扉B
扉A
扉下框

●右側開口にする場合


戸車プレート
戸車プレート
Ⓡ
Ⓛ
記号を合わせる
扉A
扉B
扉下框

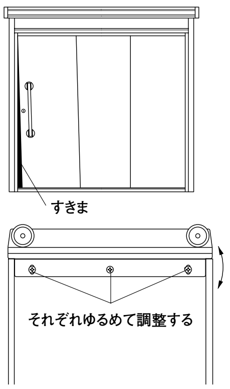
③扉B、扉Aの順番で吊り込みます。
扉上レールの切欠きに戸車を合わせて扉を吊り込みます。



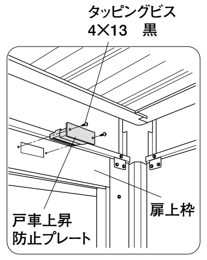
注意
戸車プレートのⓇⓁを間違えて逆に取付けると扉がスムーズに開閉できなくなります。

④扉を閉めた時図のように隙間ができるような場合や、隙間がなくても鍵及びラッチのかかりにくい場合は、戸車の**調整ボルト**をゆるめ、（扉1枚につき3本）調整します。

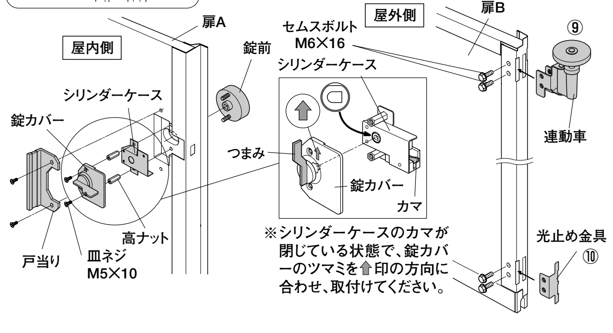
※建付け調整で直らない場合は、基礎の水平、本体の立ちを直してください。


すきま
それぞれゆるめて調整する

⑤室内側の扉上枠に戸車上昇防止プレートを差し込みビス止めします。


タッピングビス 4×13　黒
戸車上昇防止プレート
扉上枠

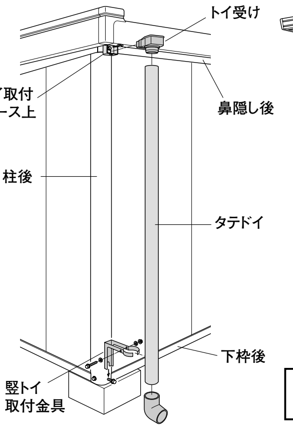
⑥扉Aの室内側よりシリンダーケースを入れ、屋外側より錠前を差し込みます。
⑦高ナットで錠前を固定し、錠カバーを当てがい、ビス止めします。
⑧戸当りを扉Aの室内側に取付けます。
⑨室内側から扉Bの上部に連動車を差し込み、ボルト止めします。この際、車部分を下に押し下げると取付け易くなります。
連動車は扉と直角に取付けてください。
※直角でない場合、連動車がスリップし連動しない原因になります。
※連動車には絶対に注油しないでください。扉が連動しなくなります。
⑩室内側から扉Bの下部に、光止め金具を差し込みボルト止めします。


扉A
屋内側
錠前
シリンダーケース
錠カバー
戸当り
皿ネジ M5×10
高ナット
セムスボルト M6×16
屋外側
シリンダーケース
つまみ
錠カバー
カマ
扉B
⑨
連動車
光止め金具
⑩

※シリンダーケースのカマが閉じている状態で、錠カバーのツマミを⇧印の方向に合わせ、取付けてください。

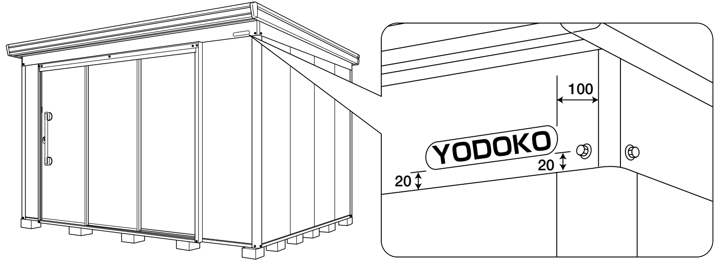
17 竪ドイの取付け

※豪雪型及びオプショントイの場合はこの工程はありません。
①トイ受けをタテドイに差し込み、トイ取付ベース・上に取付けます。
②柱と下枠を止めているボルトをゆるめ竪トイ取付金具を差し込み固定します。
③タテドイを、竪トイ取付金具に取付け、ボルト・ワッシャ・ナットで固定します。


トイ受け
トイ取付 ベース上
鼻隠し後
柱後
タテドイ
下枠後
竪トイ 取付金具

18 その他

①取扱説明書に同封の銘板を上枠前の右端から100mm、下端から20mmを基準に上枠の下端に平行になる様に貼ってください。テラス等で貼れない場合は、任意の位置に平行になる様に貼ってください。また機種名ラベルも、室内側の目立たない場所に貼ってください。（以上で完成です）


100
YODOKO
20
20

この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

お客様へ
組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。

施工業者の方へ
取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

（2929H・3629H）

ヨドコウ
淀川製鋼

（2005.5月制作）